

第2回学校評価 教職員自己評価

○日 時 平成26年2月3日～2月5日

○分析結果 ※実現度は『よく出来ている』・『大体出来ている』を合わせた数値

No.	項 目	実現度(%) ()は前期
1	子どもが基礎的な学力を身につけること	100(96)
2	子どもが人の話を集中して聞くこと	100(80)
3	子どもが自分の思いや考えを言葉や文章で表現すること	92(74)
4	指導者がわかりやすい授業へと工夫改善をすること	88(92)
5	指導者が子どもの学びの様子を的確に確認、表現すること	87(92)
6	子どもがすすんであいさつすること	79(72)
7	子どもが規律を守り正しく行動すること	96(88)
8	子どもが楽しく学校に通うこと	100(96)
9	子どもが人に優しく親切にすること	100(96)
10	学校が教育環境を美しく整えること	74(52)
11	保護者が早寝・早起き・朝ごはんの習慣をつけること	83(80)
12	親子で食事をとること	82(76)
13	子どもや保護者にとって相談しやすい教職員であること	85(92)
14	保健・安全指導で健康安全教育を進めること	92(92)
15	部活動が積極的に行われること	96(96)
16	各種お便りやホームページ等で学校の様子を伝えること	88(88)
17	学校が道德教育をすすめること	96(92)
18	保護者が学校行事に参加すること	86(76)
19	子どもや保護者がPTA・地域行事に参加すること	80(64)
20	保護者がどの子にも声かけや注意をすること	60(48)

○考 察

1. 好意的な評価を得た項目（保護者アンケートより）

20項目のうち16項目に対して80%の保護者に「よく出来ている・大体出来ている」という評価をいただきました。特に第1回保護者アンケートで課題であるとして捉えた『子どもが自分の思いや考えを言葉や文章で表現すること』という設問に対して、今回は86%の保護者に「よく出来ている・大体出来ている」という評価をいただきました。これは指導者が言語活動の充実を目指して授業に取り組んできたことが評価されたのではないかと考えられます。平成26年度も国語科を中心としながら他教科でも子ども達の表現力を高めていくよう授業を充実させていきたいと思います。また、教職員が『チーム桃山』として豊かな心・確かな学力・健やかな体の育成を目指し、共通実践を進めていきます。また子ども達一人一人がわくわくと胸を弾ませて登校し、満足感を味わって下校する学校創りを目指していきます。

2. 課題（保護者アンケートより）

20項目のうち以下の4項目が、「よく出来ている・大体出来ている」という評価が80%に達成しませんでした。

⑥ 子どもがすすんであいさつすること

95%の児童が「よく出来ている」・「大体出来ている」と答えていますが、保護者アンケート・教職員自己評価ではまだ満足のできる数値ではありません。昨年も課題があると捉えられていた項目ですが、少しずつ数値が上がり、後少しという結果です。本年度も5・6年生を中心に新たな『あいさつ運動』に取り組んでいます。教職員自身も子ども達の手本となるようなはっきりした声で気持ちのいいあいさつを心がけ、『能動的に発するあいさつ』のできる児童を育てていきたいと思います。また、保護者の方々にも働きかけ、家庭と協力しながら「あかるく いつでも さきに つたえる」あいさつ運動を進めていきます。

⑮ 部活動が積極的に行われること

本年度は7つの部活動に取り組みました。運動系・文化系のどちらの部活度にも子ども達は大変意欲的に取り組んでいます。場所、時間等を工夫し、今の部活動を継続し平成26年度も教員全員が部活動を担当し、指導していきたいと思います。

⑮ 保護者が学校行事に参加すること

⑲ 子どもや保護者がPTA・地域行事に参加すること

この2項目は、毎回実現度が低いと評価される項目です。学校行事は学校公開日等、できる限り早めに予定をご家庭に連絡し、参加していただけるように配慮していきたいと思います。

また、地域の各種団体の方々には様々な地域行事の企画を工夫していただいておりますが、保護者はなかなか参加できていないのが実態です。より多くの児童・保護者が参加できるように積極的に声かけをしていきたいと思います。

◇学校評議員の方々からの評価

- *子ども達の学力を伸ばすことは学校の大きな責務である。全国で実施される学力調査もあり、しっかりと子ども達の学力を伸ばしてほしい。
- *できるところからでよいので、環境整備の継続をお願いしたい。
- *毎年、指導者の異動で部活動が変更されるのは、次年度入部を楽しみにしている子ども達にとっては残念なこととなる。地域で指導できるボランティアの協力も得ながら、部活動は続けることはできないだろうか。また、教育大の学生等、学生をサポートとして活用することもできないだろうか。
- *「保護者が学校行事に参加すること」、「子どもや保護者がPTA・地域行事に参加すること」という項目について数値としては高くないが、積極的に参加をしている子ども達も多い。PTA、少年補導委員会、女性会での取組で、今以上に参加人数が増えるに対応が困難になる場合も考えられる。親子で参加する子も多いようだが、子ども達だけでも参加できるようにすることも大切である。

他にも貴重なご意見、ご示唆を多数頂きました。平成26年度の桃山小学校の教育活動に活かしていきたいと思います。